

富士河口湖町 教育センターだより

平成23年9月5日



夏休みが終わって、子ども達は平常の学校生活を取り戻してきました。お家では台風の後のように、静かな日常が戻ったのではないのでしょうか？子どもの賑やかさは、時として煩わしく感じることもあります。しかし、その子どもが病気で静かにしていると、「元気で賑やかなほうがいいな。」としみじみ思います。子どもの成長は短い期間ではなかなか感じとれません。しかし、大人以上に毎日変化していきます。お父さん、お母さん、子どもとの時間を大切にしてください。一緒に過ごすのに、お金はいりません。心の余裕と愛情があればいいのです。同じ時間と同じ空気をともに感じる事が重要だと思います。

●教育センターの夏は・・・

教育センターにも夏休みがあるんですか？来所の子ども達に聞かれます。「センターはカレンダー通り。いつ来てもいいんだよ。」「ふーん、そうなんだ。」少し、安心したような様子。しかし、夏休みは子ども達の来所も減ります。子ども達の不安の原因は平常時の人間関係にあるのかなと思います。人間関係＝いじめではありません。中学生の中には、集団の中で息苦しくなってしまうようです。センターで、心のしがらみや緊張をほぐして、学校へ戻っていく子ども達を見ていると、現代の中学生の繊細さ、不器用さが伺えます。心は折れてまた折れて、その繰り返しの中で、優しさや思いやり、耐える強さや感謝などを体感していくのだと思います。

教育センターでは、夏休みを利用して、先生方を対象に、数々の講座や学習会を実施してきました。

- 7月26日(火) 外国語活動研修会
- 28日(木) 生活アンケート集計作業
- 8月 1日(月) カウンセリング講座 (講師：町相談員 川辺修作先生)
- 10日(水) カウンセリング講座 (講師：健康科学大学準教授 瀧口綾先生)
- 16日(火) 郷土学習会
- 17日(水) 「川の学習」教師向け臨地研修会

この他にも、普段はなかなかできない、時間をかけた相談や家庭訪問をしたり、自己研鑽のために研修会に参加したりと、大忙しでした。学校の先生方と同様、この夏に得たことをこれからの業務に生かしていきたいと思います。

<教育センターは、いつも、子ども達を始め町の人々にとって開かれた場所であることを心掛けています。子ども達のこと、一緒に考えていきましょう。>

